

ストックリン錠 200mg ストックリン錠 600mg

【この薬は？】

販売名	ストックリン錠 200mg STOCRIN Tablets 200mg	ストックリン錠 600mg STOCRIN Tablets 600mg
一般名	エファビレンツ Efavirenz	
含有量 (1錠中)	200mg	600mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の逆転写酵素を阻害して、ウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

HIV-1感染症

- ・この薬は、他の抗HIV薬と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にストックリン錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・次の薬を使用している人

トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム、ブコラム、ミダフレッサ）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン配合錠）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM）、エルゴメトリンマレイン酸塩、ボリコナゾール（ブイフェンド）、エルバスビル（エレルサ）、グラゾプレビル（グラジナ）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・B型、C型肝炎に感染したことがある人、またはその疑いのある人
- ・精神病の人、または薬物を乱用したことがある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬〔トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム、ブコラム、ミダフレッサ）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン配合錠）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM）、エルゴメトリンマレイン酸塩、ボリコナゾール（ブイフェンド）、エルバスビル（エレルサ）、グラゾプレビル（グラジナ）〕や併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ストックリン錠 200mg	ストックリン錠 600mg
一回量	3錠	1錠
飲む回数	1日1回	1日1回

●どのように飲むか？

- ・コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- ・この薬は、食事の有無にかかわらず飲むことができますが、空腹時、できるかぎり寝る前に飲んでください。食事と一緒に使用すると副作用発現の危険性が増加します。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気がついたときには、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の処方、患者さんやそれに代わる適切な人が以下の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、この薬を飲んでいる間の身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・H I V感染症の治療薬による効果的なウイルス抑制は、性的接触による他者へのH I V感染の危険性を低下させることが示されていますが、その危険性を完全に排除することはできません。
 - ・H I V感染症の治療薬が、血液等による他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・この薬は、常に他のH I V感染症の薬と併用されます。医師の処方どおりに毎日飲んでください。医師に相談しないでこの薬の量を変更したり、やめたりしないでください。
 - ・他の薬を飲んでいるときには、そのことを医師に教えてください。
 - ・この薬とアルコール、または中枢神経系に作用する薬と一緒に飲むと、中枢神経系に対する効果が強くでることがあるので注意してください。
 - ・この薬を飲んだときに、めまい、集中力の低下、眠ったような状態になることがあります。このような症状があらわれたら、自動車の運転や機械の操作などは避けてください。
 - ・この薬は、動物実験で催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）が報告されています。この薬を飲んでいる間やこの薬を中止してから12週間は適切な避妊方法で妊娠を避けてください。妊娠した場合には医師に相談してください。
- ・この薬を飲み始めておおよそ2週間以内に発疹があらわれることがあります。通常は適切な治療により1か月以内に消失しますが、発疹があらわれた場合には、医師に相談してください。
- ・この薬を飲んで精神神経系症状（めまい、集中力障害、眠気やうとうと、おかしな夢を見る、不眠など）があらわれることがあります。飲み始めの数週間や飲み始めてこのような症状があらわれてもこの薬を続ける場合には、寝る前に飲むなど飲み方を医師や薬剤師と相談してください。
- ・重篤な肝障害があらわれることがあるので、この薬を使用している間、肝機能検査が定期的に行われることがあります。
- ・この薬を飲んで血液中のコレステロールやトリグリセライドが上昇することがあります。そのため、使用中は血清脂質を定期的に測定することがあります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり、悪化したり、自己免疫疾患（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。
- ・この薬を飲んでQT延長があらわれることがあるので、心電図検査等の検査が行

われることがあります。

- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含有する食品は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
QT 延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸（どうき）、気を失う
精神神経系症状（運動失調、脳症、昏睡、錯乱、精神運動遅延、精神病、せん妄、けいれん・てんかん発作） せいしんしんけいけいしょうじょう（うんどうしつちょう、のうしょう、こんすい、さくらん、せいしんうんどうちえん、せいしんびょう、せんもう、けいれん・てんかんほっさ）	幻覚、妄想、興奮、抑うつ、手足の動きがぎこちない、言葉がききとりづらい、ふらつき、まっすぐ歩けない、意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、刺激に全く反応しない、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、ふらつき、まっすぐ歩けない、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、刺激に全く反応しない、顔や手足の筋肉がぴくつく

部位	自覚症状
頭部	意識の低下、めまい、気を失う、妄想、興奮、抑うつ、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない軽度の意識混濁、興奮状態、一時的にボーっとする
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる、幻覚
口や喉	唇や口内のただれ、血を吐く、言葉がききとりづらい
胸部	動悸
腹部	お腹が張る
手・足	関節や喉の痛み、手足の動きがぎこちない、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）

【この薬の形は？】

販売名	ストックリン錠 200mg	ストックリン錠 600mg
形状	<p>円形</p>  <p>表面 裏面 側面</p>	<p>長円形</p>  <p>表面 裏面 側面</p>
ボトル		
直径	11.1mm	長径：19mm、短径：9.5mm
厚さ	4.3mm	7.5mm
色	黄色	黄色
識別コード	223	225

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ストックリン錠200mg	ストックリン錠600mg
有効成分	エファビレンツ	
添加剤	クロスカルメロースナトリウム、結晶セルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール400、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD 株式会社 (<http://www.msd.co.jp>)

MSD カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～17：30

（土日祝日・製造販売会社休日を除く）